

# 行政視察報告

## 企画総務常任委員会

### 視察期間

平成十七年十月十九日から

十月二十一日まで

### 視察先と視察事項

#### 岩手県北上市

- ・知識集約型産業の立地基盤（オフィスアルカディア・北上）について
- ・秋田県由利本荘市
- ・産学共同研究センターについて
- ・山形県酒田市
- ・サミットウインドパワーについて
- ・山形県新庄市
- ・市民認識度調査について

### 視察概要

北上市は岩手県のほぼ中央に位置し東北新幹線、東北自動車道、秋田自動車道など北日本随一の交通の利便性を誇っている。北上南部工業団地には四十四の企業が立地しており、県内最大の工業都市である。この団地の近くに総面積三十六・九畝の北上産業業務団地（オフィスアルカディア・北上）を造成。研究開発機能、業務管理機能、情報処理機能の企業立地を進めているもので、すでに十社ほどが立地している。



北上市にて

企業の国際化、分業化が進む中、企業誘致を巡る自治体の競争は激化しており、立地条件だけでなく企業誘致戦略の重要性を痛感した次第です。

本荘由利産学共同研究センターは産学連携による共同研究や地域企業活性化への支援を行っている。この背景には平成六年からの秋田県立大学の誘致とTDKの企業城下町であったこと、さらに運営母体となる産学共同センターの立ち上げに企業、一般から十億五千万円の募金をしたこと、ことに町内会を通しての募金には驚きである。大学は生物資源学と理工学部があり、一学年二百六十人で学生は約千人。

七割が県外から来ており、教授は百五十人で三割は民間企業の出身。熾烈な大学誘致合戦に勝利したことが新技術開発の成果として芽生えつつある。今後は工業技術のみならず、医療分野へも研究開発を進めたいとのことであった。

酒田市のサミットウインドパワーは海岸線に続く風力発電。いかに安定した風を確保できるかが条件。常に十メートルから十五メートルの風があれば尽きることはないクリーンな自然エネルギーが確保されるとのこと。

新庄市の市民認識度調査は、同市がこれまで取り組んできた施策や事業について市民がどう考えているか、今後どんな施策や事業が必要かを把握するもので平成十六年度に実施された。十八歳以上の二千五百人を対象に調査員十一名が戸別訪問した。この調査は行政評価にもつながったとのこと。今後十年の基本計画の中で、必要なものなくては困るもの、ボランティアでできるものに分け、「あれもこれも」から「あれかこれか」を市民に問うための調査であったとのことである。

## 建設経済常任委員会

### 視察期間

平成十七年十月二十七日から

十月二十八日まで

### 視察先と視察事項

#### 香川県坂出市

- ・駅周辺プロジェクトについて
- ・岡山県倉敷市
- ・資源循環型廃棄物処理施設整備運営について

### 視察概要

坂出駅付近連続立体交差事業の完成を機に、中心市街地のまちづくりを推進するため、平成八年度より十年間で十一事業に取り組み、総合的な整備がされていた。駅の北口では、地下駐車場（一二六台）、駅前広場（イベント用七 m、都市公園（・五七 ha）市民ふれあい会館が完成し、駅前広場に面した地区で、市街地再開発事業が計画されていた。南口では、拠点整備



倉敷市にて

土地区画整理事業（三・六ha）が実施中であり、高架下には駐輪場（一四台）が完成している。併せて街路整備（四路線）、市道整備（四路線）もほぼ終えようとしている。また、北口駅前広場の横には関連事業として、市民広場（二七 m<sup>2</sup>）がオープンしていた。

駅周辺は整備が進んでいるが、商店街のシャッター通りの整備はそのまま、郊外の大型店にお客を取られていく。土岐市も、点だけの整備ではなく、幅広い視野を持った計画性のある整備を推進していくことが必要。

倉敷市では、資源循環型社会形成に整合した、新ごみ処理施設の整備・運営について説明を受け、PFI方式のため、事業期間中（二十年間）、市と民間事業者締結の事業契約の的確な契約管理が必要。法律改正等に際しては、リスク分担の見直しが必要。

PFI方式は、大量のごみなどが出る市には最適。土岐市の処理施設の方が単価であることがわかり、関心されていた。

文教厚生常任委員会

視察期間

平成十七年十一月八日から

十一月九日まで

視察先と視察事項

岡山県高梁市

・高齢者福祉サービスについて

兵庫県加西市

・幼・保一元化について

視察概要

岡山県一の高齢化率三十四・二八%の高梁市は、地域の特性を活かした高齢者福祉サービスを展開しています。主な事業は、「食の自立支援（配食サービス）事業」として、概ね六十五歳以上の单身世帯及び高齢者世帯等に週三回の昼食または夕食を配達するもので、安否確認の意味も為しています。また、「高齢者筋力向上トレーニング



高梁市にて

事業」として、高齢者向けに改良されたトレーニング機器を使用し、運動機能の向上を図るトレーニングを行うもので、元気な高齢者にと市内二ヶ所に配置しています。本市では高齢化率二十三・三三%、今後四人に一人が高齢者となり、高齢化社会における福祉サービスについて一考する視察でした。

加西市では、就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した総合施設として「賀茂幼児園」が文部科学省のモデル事業実施園として指定され、保育園における保育所児及び幼稚園児の合同活動事業を実施しています。この幼・保一元化の背景には、公立保育所、幼稚園の定員割れ、就学前教育と保育の一体化、行財政改革（既存施設の活用、適正規模による費用対効果）保育サービスの多様化とサービスの向上があります。本市でも少子化傾向

決算特別委員会を設置

十二月一日、本会議において平成十六年度土岐市一般会計及び平成十六年度土岐市特別会計決算の審査を行うための決算特別委員会を設置しました。

委員は下記の通りです。

委員	三輪 洋二
副委員長	丹羽 英治
委員	小関 祥子
委員	奥村 関也
委員	金津 保
委員	高井 由美子
委員	宮地 順造
委員	山内 房壽
委員	小栗 恒雄

行政視察来訪

本市行政視察に来訪されました

十月十九日

新潟県加茂市議会

公の施設の外部管理委託等について

情報公開条例の運用と課題について

十一月七日

京都府向日市議会

乳幼児医療費助成について

ファミリーサポートセンター事業について

総合福祉センター「ウェルフ

エア土岐」視察